# ゴーヘッズ 速報

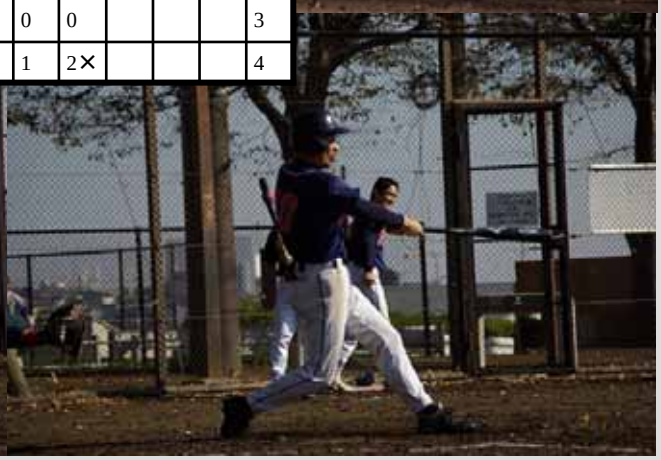
Goaheads

第３８号　平成２１年１２月７日

*先行逃げ切りが・・・*

## 勝利目前で、須藤季節外れの紅葉（高揚・・・）

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | R |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| G | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | | | | 3 |
| P | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2× | | | | 4 |



今期最終戦のＧＰ対抗戦を１１／２１（土）清水が丘公園野球場にて行った。結果は、センターの痛恨さよならエラーというチーム新記録で、幕を閉じ、対戦成績は、４勝５敗と一つの仮を作り、今期の対戦を終えた。ゲームは、我がチームの先行、先制でゲームを作り、ゲームは終盤、最終回へ突入した。点差は、最小点差の１、今日の先発政司は、四球を出すものの、要所を締め、ゲームを作っていただけに、この点差にて逃げ切り勝利を予感させていた。先頭打者を２球で遊ゴロに打ち取り１死、しかし、続く２打者に、三線安・右前安の連続安打を喫し、１死１、２塁、続く相手主砲を見逃し三振に切り、残る打者はあと一人、しかし、その打者に四球を献上、二死満塁と漫画の世界にでも突入したかのゲーム展開になった。次打者も相手の小さい主砲、時折ゲーム中にもぐらが顔を出すなど、おちゃめな場面も顔を出すプレーヤー、その打者に投じた７球目に、事件は起きてしまった。打球はセンターへあがった、イージーフライ、誰しも好プレーやーである彼のグラブ裁きを信じたその瞬間、何とグラブからもぐらが顔を出し、ボールはグラブから弾き出され、且つその行為で動揺したプレーヤーの後方にボールは転々、その間、ベースランナー２走者が一気にホームインし、幕は閉じた。結果、チーム戦績は一つ負け越し、個人を見てみると、好投をしていただけに、この勝ち星を逸した事は、今期の最多勝争いに大きく与えた事は、間違いない。事実は事実、やっちゃた事は仕方ない、しかーし、ボールに届かなければ、エラーは記録されない、これにメゲズニ今後の彼の活躍に期待したい。それにしても、おちゃめな二人、サードはゲーム中の緊張しまくり、敗戦投手は、ベースランを楽しんだから、敗戦止む無しかな・・・